

瀬戸内海の再生に向けた包括的アプローチ

■ 趣 旨

我が国の代表的な閉鎖性海域で、「環境管理の実験海域」ともいえる瀬戸内海では、現在、その資源と環境の管理のあり方全体が大きな転換期を迎えています。おりしも、瀬戸内海環境保全特別措置法の全面的な見直しと新たな法制度の制定に向けた要望が具体的に動きだしてきました。

瀬戸内海研究会議では、瀬戸内海環境保全知事・市長会議の要請を受けて、瀬戸内海再生方策の検討を行ってきました。

1973年に制定された瀬戸内法は、「瀬死の海」の救済に大きな役割を果たしたものの、30数年を経て、時代の大きな変化と海域環境の新たな課題に対応しきれなくなってきました。このため、豊かな「里海」の実現を図るとの基本理念を掲げ、生物多様性と水産資源の回復や流域圏の総合的管理を軸にした新たな再生方策を提言すべく、包括的な論議を行ってきました。

本ワークショップは、研究会議がまとめた提言を瀬戸内海の多くの関係者に披露し、多方面からの視点による意見を集約して、より良い再生方策として、新たな法制度の整備に向けた政策提案につなげることを目標に開催するものです。

■ 日 時

平成17年11月30日(水) 13:00~16:45

■ 場 所

神戸市教育会館 大ホール(神戸市内)

神戸市中央区中山手通4-10-5

TEL 078-222-4111

■ 主催等(予定)

主 催 瀬戸内海研究会議

協 賛 (財)ひょうご環境創造協会 (社)瀬戸内海環境保全協会

後 援 環境省 瀬戸内海環境保全知事・市長会議 兵庫県瀬戸内海環境保全連絡会

■ 参加料等

定 員 : 150名

参加料(資料代): 1,000円

参加申込方法

11月22日(火)までに、裏面の参加申込書にご記入の上、FAX、郵送、Eメールにて、事務局までお申し込み下さい。

■ 申込・お問い合わせ先

瀬戸内海研究会議事務局

〒651-0073

神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1

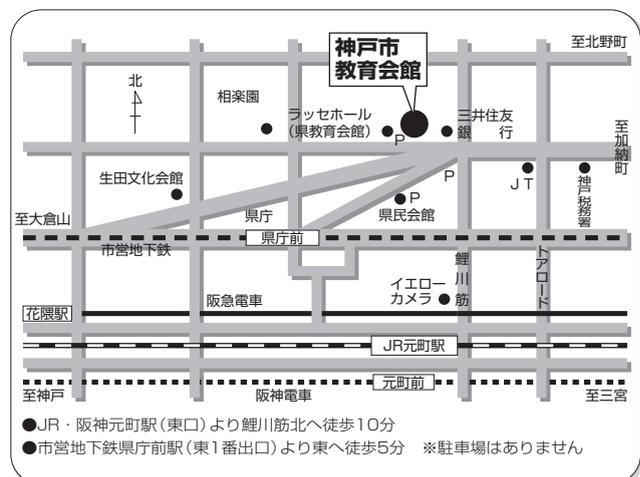
国際健康開発センター 3階

(社)瀬戸内海環境保全協会内

TEL 078-241-7720 FAX 078-241-7730

Eメール: web@seto.or.jp

プログラム、参加申込書は裏面にあります。



プログラム

■ 趣旨説明 松田 治（瀬戸内海研究会議会長） 13:00 ~ 13:30

■ 個別発表 13:30 ~ 15:30

1. 再生の理念：「里海」構想 柳 哲雄（九州大学応用力学研究所教授）
2. 新たな瀬戸内法体系 荏原明則（関西学院大学大学院司法研究科教授）
3. 自然再生推進の取組 上嶋英機（広島工業大学大学院環境科学研究科教授）
4. 再生に向けたNGO提案 阿部悦子（環瀬戸内海会議代表）

----- 休 憩 -----

■ 総合討論 15:45 ~ 16:45

コンビナー：松田 治（瀬戸内海研究会議会長）

瀬戸内海研究会議ワークショップ

参加申込書

日時：11月30日(水) 13:00~16:45

場所：神戸市教育会館大ホール

所属 _____

氏名 _____

<連絡先>

〒 _____

住所 _____

TEL _____ FAX _____